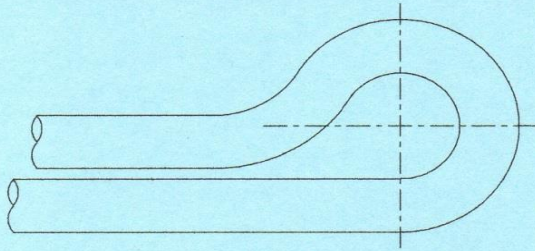
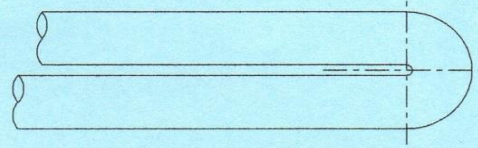


○ ロープ類、紐類は2種類に大別できる。図参照。太さの違いではない事に留意。



用途： 登山 クライミング



用途： 生活用 トラック荷づくり

○ 注意！ 登山用ロープはコシが強い(硬い)。ゆえに、生活用の紐に比べて結びが緩みやすい。

登山で使用する結びは、解く事を前提にしている。
加重により自身の結びを締め上げている。加重が抜けると緩みやすい。
日常的に使用する結びでも、登山では危険とされる結びがある。

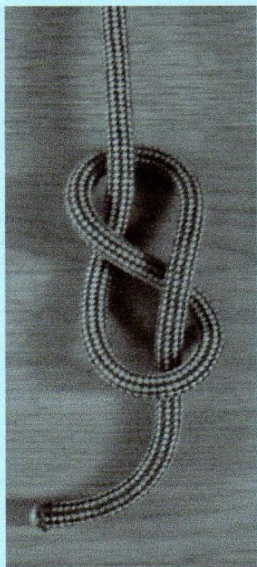
○ 自分が使用する可能性が高い結びを完全に覚える。

多種多様な結びがある。ふだん使用しない結びは、いずれ忘れる。反復練習を自宅でする。
あやふやな記憶で決して結ばない。隣人に結びを確認してもらう。
気づかない内に緩んでいたら、大事故になる。隣人を傷つける結果となる。

○ エイトノット(ハチノジ結び)を必ず覚える。

ザイルの末端を自身の登攀ベルトに結ぶ。
ザイルの末端を立木に結ぶ。
ザイルの中間にカラビナをセットする。
2本のザイルの末端を結んで1本にする。

基本



常用 エイトノット



同径の2本を結ぶ



異径(異形)の2本を結ぶ



上記の図は、締めが緩い。最後は、ザイル間の隙間が無くなるまで、きっちり締め上げる。
2本のザイルは互いに平行である。一方がもう一方を、またぐ事が無いように結ぶ。

